

中津市立豊陽中学校は、全校生徒369名の中規模校です。今年度から「中学校学力向上対策3つの提言」を核とした授業改善推進校として研究を進めています。今号では、3つの提言のうち、「生徒と共に創る授業」における「特別活動の充実による学びに向かう集団づくり」に関連した学校教育目標達成に向けた取組を紹介します。

学校教育目標

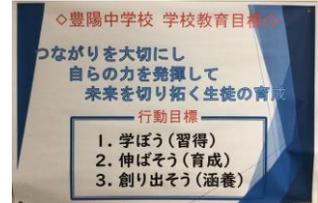
つながりを大切にし 自らの力を発揮して 未来を切り開く生徒の育成

豊陽中学校が大切にしていること



豊陽中学校では、学校教育目標の実現に向けた「行動目標」を各教室や廊下に掲示して生徒と共有しています。

「**生徒の主体性を育む**」取組が多く設定されており、学級・学年・学校全体（縦割り）で「**他者につながる**」取組を大切にしています。



教室の掲示物

生徒の主体性を育む

4月 学級討議



「学校のきまり」に向き合う機会として、年度初めに学級討議を実施しました。よりよい学校生活を送るために、自分たちがどうすればよいかを考え、議論する姿がありました。

4月 歓迎遠足



委員会の生徒が主体となって、どうしたら新入生と交流が深められるかを考え、役割分担や運営方法等を話し合い、実施しました。

他者につながる

5月 体育会



体育会では、縦割りで一つの団を構成しています。生徒は、団の目標達成に向けて体育会に臨み、解団式では、**努力した過程を振り返りながら称え合うこと**で、異学年のつながりを強めました。

6月 市総体激励会



市総体激励会では、すべての部活動の健闘を祈り、全校で声を掛け合い健闘を誓いました。



豊陽中では、学校行事等で、生徒が「自分の言葉で語る」場面が意図的に設けられており、先生方は**生徒が失敗を恐れることなく挑戦することを大切にし、見守ることに徹しています。**

これを実現するためには、先生方の事前準備が大切であり、入念に生徒と対話をし、その後に生徒に委ねています。**上手いかなかったことも価値ある経験とし、そこから何を学び、次にどう生かしていくかを、生徒と共に考えることを大切にしています。**